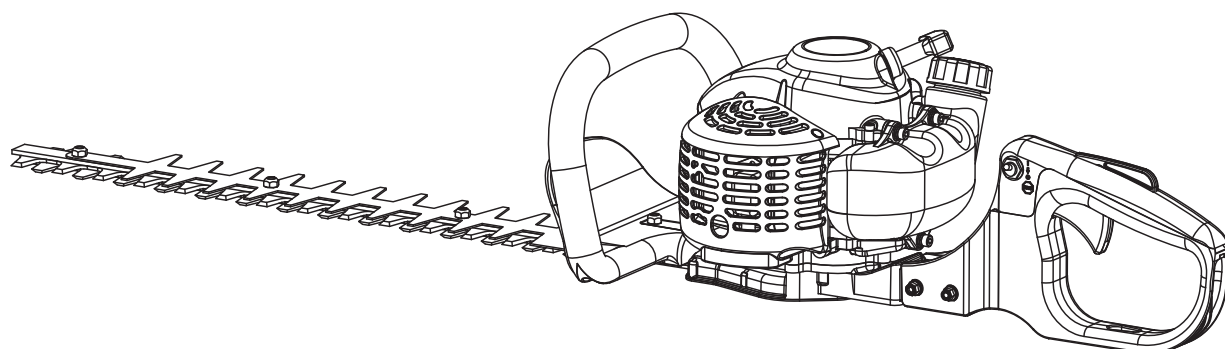


RYOBI

取扱説明書

エンジンヘッジトリマ EHK-480



(社) 日本陸用内燃機関協会
小形汎用エンジン
排出ガス自主規制適合証




このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

目 次


安全にご使用いただくために	3
1 付属品の確認	6
2 各部の名称と警告表示ラベル	7
3 作業の準備	8
3-1. 燃料の準備	8
4 エンジンの始動・停止	9
4-1. エンジンの始動	9
4-2. エンジンの停止	11
5 剪定・刈り込み作業	12
5-1. 基本的な作業方法	13
6 点検・整備	14
6-1. 点検・整備の目安	14
6-2. 作業前後の点検・整備	14
6-3. ブレードの手入れ	15
6-4. 1 8 時間毎点検・整備要領	16
6-5. 2 5 時間毎点検・整備要領	16
7 保管	19
8 故障対策	20
8-1. 故障診断表	20
8-2. 製品の廃棄	21
9 仕様	22

安全にご使用いただくために

警告表示について

 危険	 警告	 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。	重要
		重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		電気ショックに注意すること
	作業中は保護具を必ず着用すること		高温部に注意すること
	通気の悪い場所で製品を使用しないこと		手の切断に注意すること
	火災に注意すること		混合燃料を使用すること

○ 製品の特徴

- ◆ この製品はK(軽)スタート方式を採用していますので、エンジン始動時にスタータグリップを軽く引くことができます。

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ



警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書

- この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。
- この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。
- 製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。
- 使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
- 損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から購入してください。

事故や重傷を負う原因となります。



製品の使用目的以外の使用禁止

- この製品は枝の直径が 6 mm 以下の生垣や植込の剪定、刈込作業に使用してください。
- 本書に記載されている用途以外に使用しないでください。

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- 製品を改造しないでください。

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- 定期的に点検・整備をしてください。

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- 製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者

- 体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。
- 次のような人は使用しないでください。

- ◆ 妊娠している人
- ◆ 16 歳未満の人
- ◆ 取扱説明書の内容を理解していない人

事故や重傷を負う原因となります。



レイノー現象の症状に注意

- 指に不快感、赤み、腫れがあり、白くなったり感覚がなくなったことのある人は、製品を使用する前に医師に相談してください。

指にレイノー現象と呼ばれる症状が現れることがあります。

健康管理

- 休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。
- 作業中に体調が悪くなった場合はすぐにエンジンを停止し、作業を中断してください。
- 厚生労働省の通達は次のとおりです。

- ◆ 1 日の使用時間：2 時間以内
- ◆ 1 回の連続作業時間：30 分以内
- ◆ 1 回の連続作業後の休止時間：5 分以上

健康障害を受ける恐れがあります。

安全にご使用いただくために



警告

服装の点検

○ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- ◆ 上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる
- ◆ ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む
- ◆ ネクタイや装飾品は着用しない
- ◆ 髪の毛は肩より上でまとめる

事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

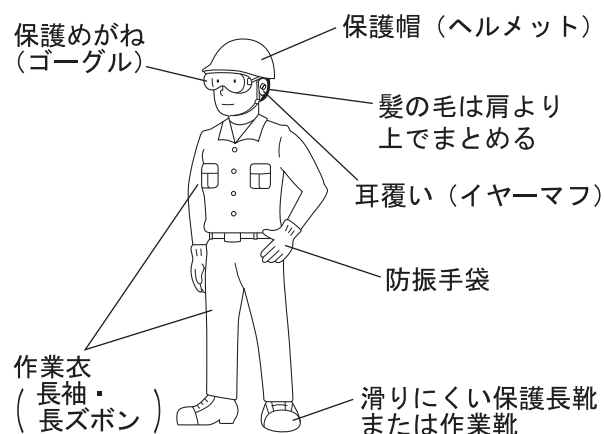
○ 下記の保護具を着用してください。

- ◆ 保護帽（ヘルメット）：頭部の保護
- ◆ 耳覆い（イヤーマフ）や耳栓：聴力の保護
- ◆ 保護めがね（ゴーグル）：目の保護
- ◆ 防振手袋：寒さや振動から手を保護
- ◆ 滑りにくい丈夫な保護長靴や作業靴：足の保護

視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。

○ 必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- ◆ 防じんマスク：呼吸器の保護
- ◆ 防蜂網：蜂の襲来対策



製品の使用環境・作業環境

○ 次のような場合は製品を使用しないでください。

- ◆ 降雨時や落雷の恐れがあるとき
- ◆ 急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所
- ◆ 夜間や視界が悪い場所

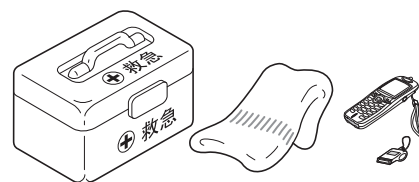
転落や滑落、誤った操作などにより事故や重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

○ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- ◆ 救急箱（応急手当用）
- ◆ タオルや手ぬぐい（止血用）
- ◆ 呼子や携帯電話（外部との連絡用）

応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



発火・発煙・火災への備え

○ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。

○ エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。

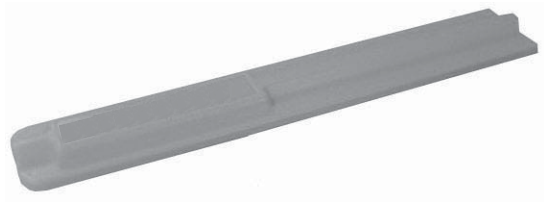
○ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとする、火災やその他の傷害の拡大につながります。

1. 付属品の確認

○ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

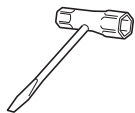
ブレードカバー



本体



ソケットレンチ
10×19



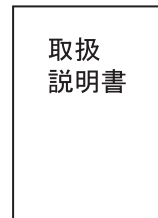
スパナ
8×10



保護めがね

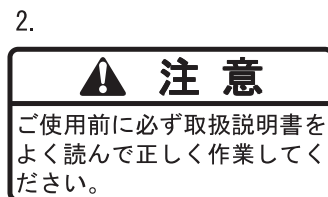
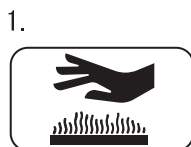
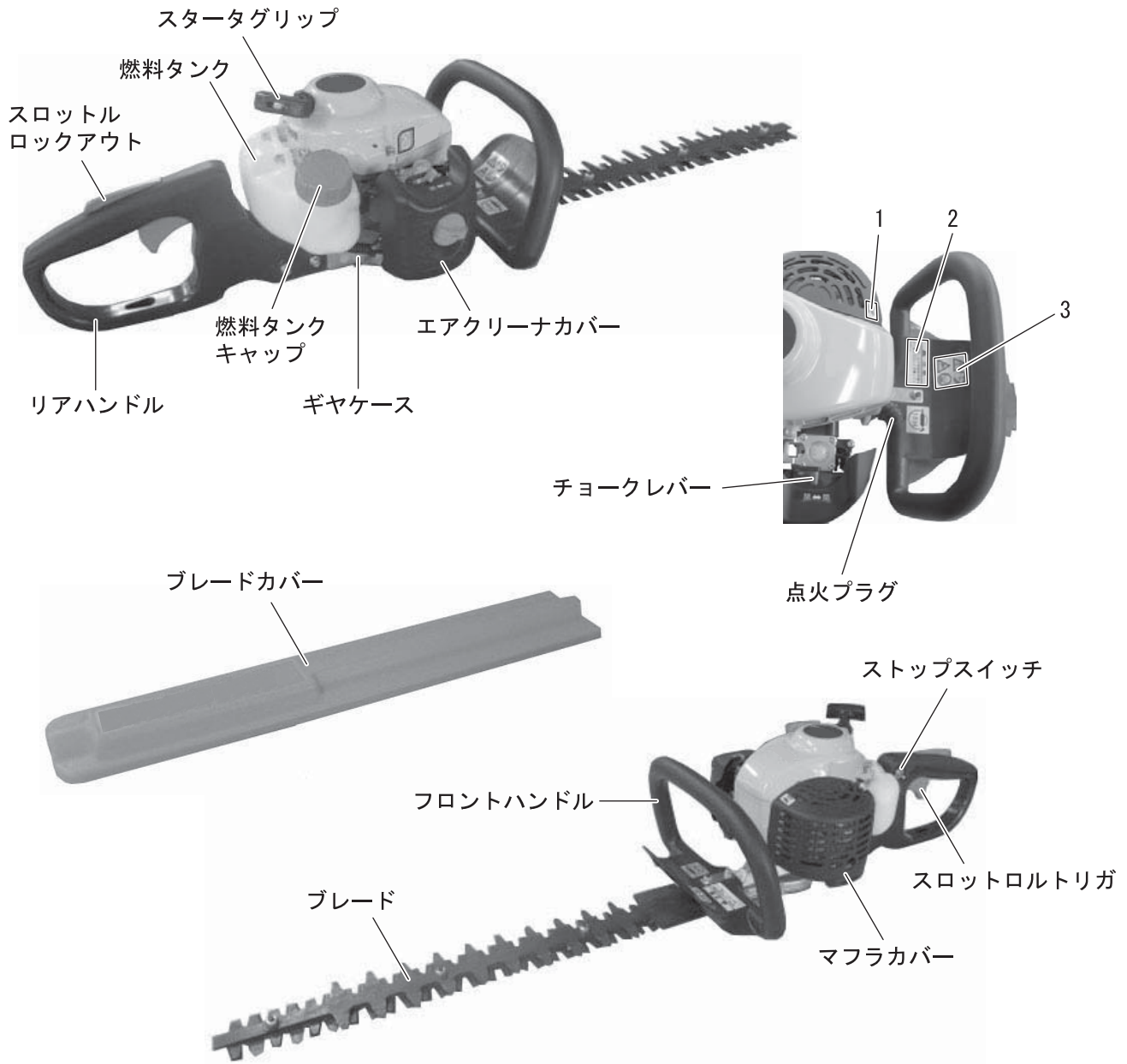


取扱
説明書



2. 各部の名称と警告表示ラベル

- 本書で説明している製品の各部の名称および警告表示ラベルを示しています。ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。
- ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



3. 作業の準備

3-1. 燃料の準備

危険

- 燃料はエンジンを停止し、エンジンが冷えてから補給してください。
 - 補給中にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないでください。
- 燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



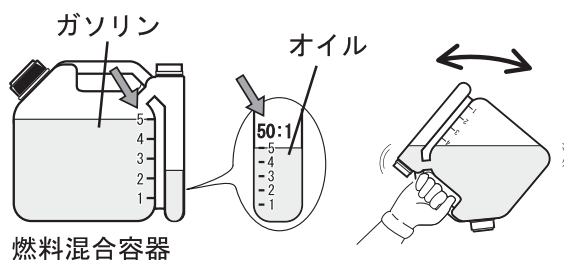
警告

- 燃料補給前に製品および補給用タンクを地面に数分間置くなどして、帯電している静電気を逃がしてください。作業中自身も手のひらを地面や金属に押し当てて、静電気を逃がしてください。
 - 燃料補給時に金属製の漏斗（ろうと）を使用しないでください。
- 静電気が燃料に放電して、火災の原因となります。
- 燃料は風通しの良い場所で、製品と補給用タンクを地面に置いて補給してください。トラックの荷台の上などで補給しないでください。
 - 燃料タンクには外気との間に圧力差が生じています。燃料タンクキャップはゆっくりと開けてください。
 - 燃料タンク口元まで入れずに、規定レベル以下に補給してください。
 - 燃料が少しでもこぼれたら必ず拭き取ってください。ただし湿度が低いときは、乾いた布で拭くと静電気を帯びやすいので、水を湿らせた布で拭き取るようにしてください。
 - 燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れやにじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 補給用タンクは火気のない日陰に置いてください。
- 燃料に引火して火災を起こしたり、火傷の原因となります。
- 余った燃料は鋼板製のガソリン携行缶で保管してください。
 - 燃料を運搬する際は鋼板製のガソリン携行缶を使用してください。
- ポリ容器での運搬や保管は法律で禁止されており、火災の原因となります。

重要

- この製品に使用する燃料は、レギュラーガソリンと2サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。アルコール混入燃料はゴム製部品の劣化を早めるので、使用しないでください。
- 混合燃料は劣化しやすいので、使用する分量だけ混合してください。
- 余った燃料の保管期間は1ヶ月程度としてください。

■ 燃料の混合



2サイクル専用オイル（JASO 性能分類 F C または F D グレード）を 50:1 の比率でよく混合してください。

ガソリンと2サイクルエンジンオイルとの混合比	
ガソリン (L)	2サイクルエンジンオイル (mL)
2	40
4	80
5	100

* 指定以外のオイルや混合比は、エンジン不調の原因となります。

■ 燃料の補給



- ◆ 燃料タンクのキャップを開け、手動式の燃料補給ポンプ等で混合燃料を、規定レベルまで入れてください。（電池式の灯油ポンプは使用しないでください。）
- ◆ 補給後は、燃料タンクキャップを確実に締め付けてください。

4. エンジンの始動・停止

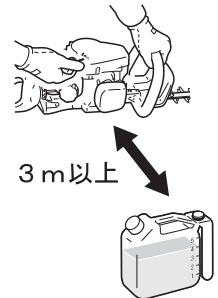


警告

○ エンジンを始動するときは、次のことを守ってください。

- ◆ 燃料を補給した場所から 3 m 以上移動する
- ◆ 製品を平坦で通気の良い、可燃物のない場所に置く
- ◆ 燃料が漏れていないか確認する
- ◆ エンジン単体で始動しない
- ◆ ブレードのヒビ、欠け、ゆるみ、ガタがないことを確認する
- ◆ ブレードが地面や障害物に接触していないことを確認する
- ◆ すべてのハンドルとプロテクタ類がついていることを確認する
- ◆ ボルトやナット類にゆるみがないことを確認する
- ◆ 周囲は広くとり、人や動物を近づけない
- ◆ スロットルトリガが低速位置にあることを確認する
- ◆ 製品をしっかりと押さえて始動する

火災、事故や重傷を負う原因となります。



3 m 以上

○ エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。屋内など通気の悪い場所で製品を運転しないでください。

排気ガスによる中毒事故の原因となります。



○ エンジンが始動したら、異常振動・異常音が発生していないかを確認してください。

異常がある場合は直ちにエンジンを停止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

部品の脱落、飛散などにより、重傷を負う原因となります。

○ スロットルトリガが低速の位置にあってもブレードが動くときは、キャブレタを調整してください。
(18 ページの「キャブレタの点検」を参照)

ブレードに接触し、重傷を負う原因となります。

○ 製品の運転中および停止後しばらくの間は、エンジンカバー、マフラ、ギヤケース、ブレードなどの高温部に触れないでください。

高温部に触れると火傷します。



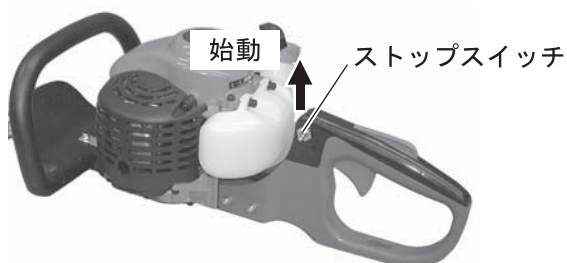
○ 製品の運転中、点火プラグ、プラグコードなどの高電圧部に触れないでください。

運転中に高電圧部に触れると感電します。



4-1. エンジンの始動

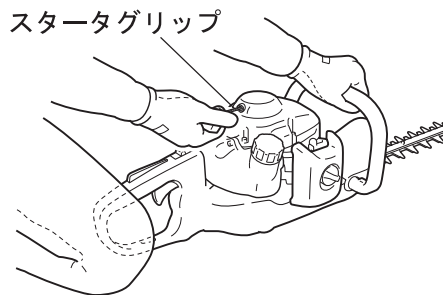
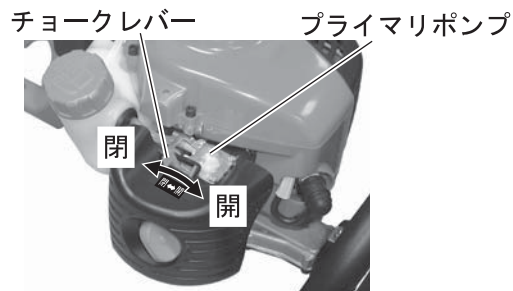
■ 冷えたエンジンの始動



(長期保管後に使用するときは、点火プラグキャップを接続してください。)

1. ブレードカバーを外してください。
2. 製品を平坦な地面に置き、ブレードが地面や障害物に触れていないことを確認してください。
3. ストップスイッチを「始動」の位置にしてください。

4. エンジンの始動・停止



4. チョークレバーを「閉」の位置にしてください。
5. プライマリポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリポンプを押す・離すの操作をくり返してください。(目安 5 ～ 10 回)

* 購入後初めて使用する場合、または長期保管後最初に使用するときは、上記の目安回数にかかわらずプライマリポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリポンプの操作は続けてください。

6. 周囲の安全を確認して、図のように左手でフロントハンドルをしっかり握り、右手でスタータグリップを数回引いてください。
7. 爆発音がし、すぐに止まったときは、チョークレバーを「開」の位置に戻して、更にスタータグリップを引き始動させてください。

* チョークレバーを戻さないままスタータグリップを引き続けると、燃料を吸い込みすぎてエンジンが始動しにくくなります。

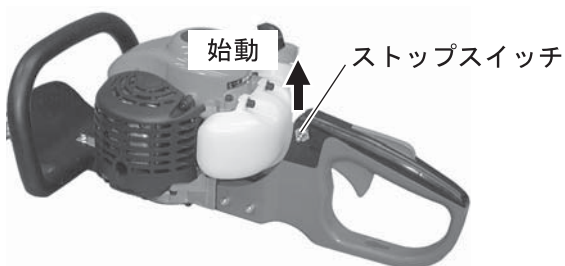
8. 上記 6 の操作ですぐにエンジンが始動したら、チョークレバーを徐々に「開」の位置に戻してください。

■エンジンの暖機運転

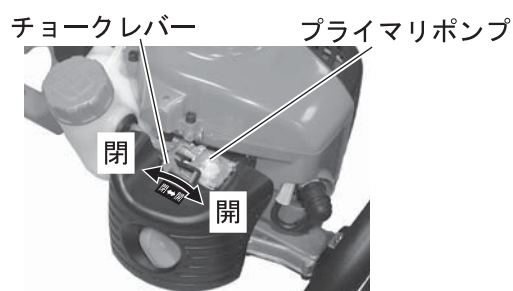


1. 始動したら、数分間アイドリング (低速運転) で暖機運転をしてください。
2. 暖機運転は、エンジン内部の潤滑を円滑にします。特に冷えているときは十分に行なってください。

■暖まっているエンジンの始動

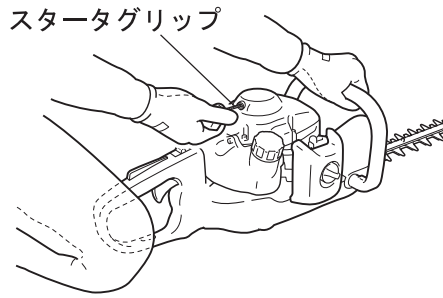


1. ブレードカバーを外してください。
2. 製品を平坦な地面に置き、枕木などをしてブレードが地面や障害物に触れていないことを確認してください。
3. ストップスイッチを「始動」の位置にしてください。



4. チョークレバーが「開」の位置にあることを確認してください。
5. 燃料がプライマリポンプ内に見えないときは、プライマリポンプ内に燃料が吸い上がるまで、プライマリポンプを押す・離すの操作をくり返してください。(目安 5 ～ 10 回)

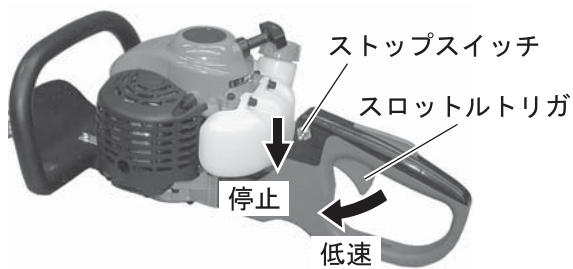
4. エンジンの始動・停止



6. 周囲の安全を確認して、図のように左手でフロントハンドルをしっかり握り、スタータグリップを引いてエンジンを始動させてください。
7. スタータグリップを数回引いて始動しないときは、「冷えたエンジンの始動」の手順で始動してください。

* 燃料がカラになっている場合は、燃料を補給し、プライマリポンプを押す・離すの操作を繰り返してください。(目安 5 ～ 10 回)

4-2. エンジンの停止



1. スロットルトリガを「低速」の位置にし、エンジンをアイドリング（低速運転）状態にしてください。
2. ストップスイッチを「停止」の位置にしてください。
3. 緊急の場合は、直ちにストップスイッチでエンジンを停止してください。

* エンジンが停止しないときは、チョークレバーを「閉」の位置にしてください。エンジンは失速し停止します。(応急停止)

ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、製品を再び使用する前に、お買い求めの販売店にストップスイッチの点検と修理を依頼してください。

5. 剪定・刈り込み作業



危険

○ 製品の中心から半径 10 m の範囲は危険区域です。作業中は次のことを守ってください。

- ◆ 危険区域に人や動物を入らせない
 - ◆ 危険区域に人や動物が入ったときは、エンジンを停止し、ブレードを停止させる
 - ◆ 作業者に近づくときは、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、エンジンとブレードの停止を確認する
 - ◆ 二人以上で作業するときは、お互いに合図のしかたを決めて 10 m 以上離れる
- ブレードからの飛散物やブレードとの接触により、失明や死亡事故を起こすことになります。



警告

○ 作業前に、作業する場所にあるブレード周辺にからまりそうなヒモや針金などは取り除いてください。

製品にからみついた針金などが跳ね返ったりして、事故や重傷を負う原因となります。

○ 剪定・刈り込み作業では次のことを守ってください。

- ◆ ヒビの入ったブレードは使用しない
- ◆ 手を伸ばしたまま、あるいは足元が不安定な場所で製品を使用しない
- ◆ はしごや台の上で使用しない
- ◆ 常に両手でハンドルを握り、片手で操作しない
- ◆ ブレードが動いているときには、絶対にハンドルから手を離さない

事故や重傷を負う原因となります。

- ◆ 針金や鉄板など、硬いものを切らない

故障や事故の原因となります。

- ◆ エンジンを停止したときは、製品を地面に置く前にブレードが停止したことを確認する

ブレードが惰性で動き、傷害を負う原因となります。

- ◆ ブレードに絡まった異物を取り除くときは、エンジンを停止してから取り除く

ブレードが急に動き出し、傷害を負う原因となります。

○ 作業中、マフラ周辺に草やゴミなどが付着したときは、速やかに取り除いてください。

火災の原因となります。

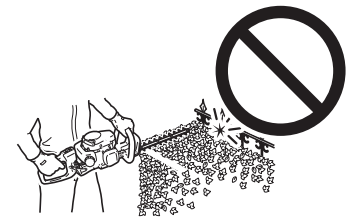
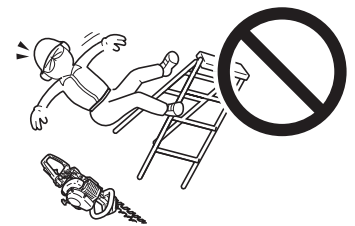
○ 次のような移動時はエンジンを停止しブレードが停止してから、ブレードカバーを付け、マフラを身体から離してください。

- ◆ 作業場へ移動するとき
- ◆ 作業中に他の場所へ移動するとき
- ◆ 作業場から帰るとき

火傷や重傷を負う原因となります。

○ 車で運搬するときは燃料タンクから燃料を抜いて、ブレードカバーを付け、製品が動かないように固定してください。

燃料を入れたまま車で移動すると、火災の原因となります。

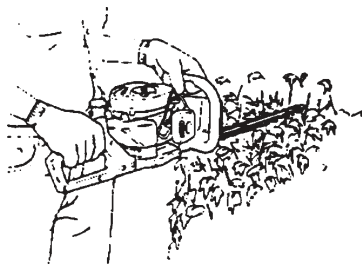
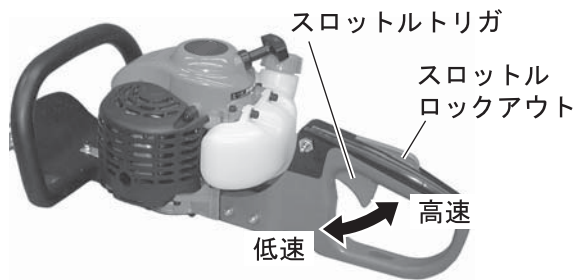


5. 剪定・刈り込み作業

5-1. 基本的な作業方法

重要

- 本製品は、枝の直径が 6 mm 以下の低木あるいは生垣用に設計されています。
- 刈り込みを開始するときには、エンジンを高速回転させてください。低い回転速度で刈り込むと、クラッチが滑り故障の原因となります。剪定・刈り込み作業をしないときは、エンジンを高速回転させないでください。
- 購入後はじめて製品を使用するときは、最初の 2 時間はエンジンの回転速度を、あまり上げないようにしてください。



1. エンジン始動後スロットルロックアウトを押してからスロットルトリガを握ると、エンジンの回転速度が上がりブレードが動き始めます。刈込む生垣などの量によって、回転速度を調節してください。
2. ブレードを身体から外に向けて刈り込みしてください。ブレードを自分の方に向けたり、身体に近づけたりしないでください。
3. 生垣などの上の方を刈るときは、ブレードを左右に動かしながら刈り込んでください。ブレードをわずかに下へ向けながら動かすと、刈りそろえがうまくできます。
4. 横側を刈るときは、ブレードを下から上へ動かしながら刈込むと、刈りそろえがうまくできます。
5. ブレードを木などに押しつけないでください。ブレードの動きと速度に合わせて操作してください。

6. 点検・整備



警告

○ 製品の点検・整備をするときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてから点火プラグキャップを外してください。

火傷や、突然の始動により事故の原因となります。

重要

○ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。

○ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

6-1. 点検・整備の目安

点検・整備項目	作業前または 作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間 毎	参照ページ
燃料パイプ、燃料系グロメット	○		●	15
燃料タンクキャップ	○		●	15
ブレード	○			15
エアフィルタ	○		●	14
点火プラグ		○	●	16
燃料フィルタ		○	●	17
燃料タンクの清掃		○		17
燃料の残量、劣化	○			17
ギヤケースのグリース注油		○ *1		16
キャブレタ		○		18
冷却風通路・シリンダフィンの清掃		○		17
マフラ		○		17
ボルト、ナット	○			－
エンジン各部の増し締め			●	－
クラッチ			●	－

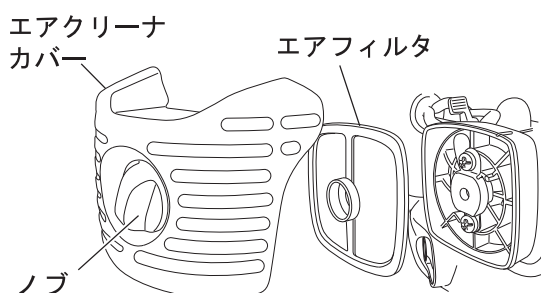
○：ご自分で点検・整備してください。

●：製品の性能維持のため、お買い求めの販売店に定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

*1：作業 18 時間毎

6-2. 作業前後の点検・整備

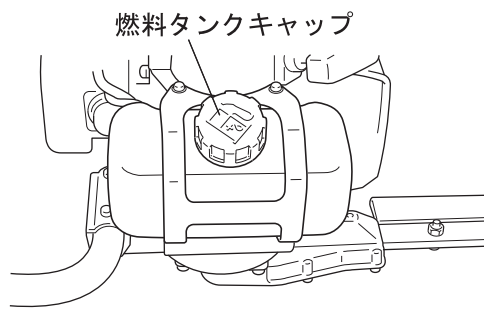
■エアフィルタの清掃



1. チョークレバーを「閉」の位置にしてから、エアクリーナカバーのノブをゆるめ、エアクリーナカバーを取り外してください。
2. エアフィルタを取り外してください。
3. 汚れをブラシで落とすか、中性洗剤で洗ってください。洗剤を使用した場合は、十分に水洗いをし、よく乾かしてください。
4. エアフィルタを元の位置に取り付けてください。
5. エアクリーナカバーを取り付け、ノブを締めてください。

6. 点検・整備

■燃料系統の点検



1. 燃料を補給した後、燃料タンクキャップを確実に締め付け、燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。
2. 燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

6-3. ブレードの手入れ

⚠ 注意

○ 直接ブレードに触れないように、手袋を着用の上、作業をしてください。
傷害を負う恐れがあります。



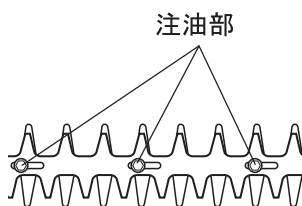
重要

- 上下のブレードのすきまは、出荷時にブレード下のボルトで調整してあります。自分で調整しないでください。
- ブレードの刃先が摩耗したり、上下のブレードのすきまが狂うと、切れ味が悪くなります。その場合は、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。

■ブレードの清掃

ブレードに樹脂などの汚れが付いた場合は、軽油とオイルを 1:1 の割合で混合したもので、ブレードの汚れを洗い落としてください。

■ブレードの注油



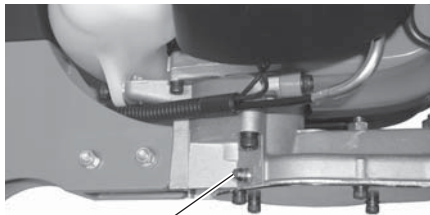
ブレードを固定しているボルトまわりに、オイルを 2 ～ 3 滴ずつ注油してください。

* 雨水等で濡れたブレード部を上向きにしたまま、置かないでください。ギヤケース内に水が入り込んでさびる原因になります。

6. 点検・整備

6-4. 18時間毎点検・整備要領

■ギヤケースのグリス注油



グリスニップル



給油ラベル



1. ギヤケースには約 25 g のグリスが注油されています。
2. グリスニップルから、純正ギヤケースグリスを注油してください。

* 作業 18 時間毎に注油してください。

⚠ 注意

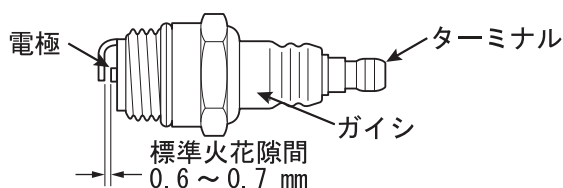
○ 停止後、ギヤケースが冷えてから補給してください。
火傷の恐れがあります。

6-5. 25時間毎点検・整備要領

■点火プラグの点検

重要

○ 指定の点火プラグ (22 ページの「仕様」を参照) を使用してください。

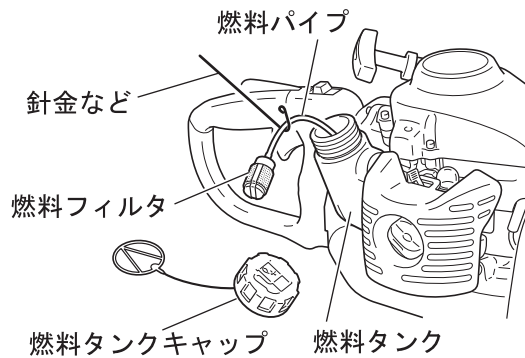


1. 付属のソケットレンチ (19 mm) で点火プラグを外してください。
2. 点火プラグの標準火花隙間は 0.6 ~ 0.7 mm です。標準火花隙間より広すぎたり狭すぎる場合は調整してください。電極の周囲にオイルや堆積物が付いているときは清掃してください。電極やターミナルが摩耗しているときや、ガイシに亀裂がある場合は指定の点火プラグと交換してください。
3. 点火プラグは、付属のソケットレンチでしっかり締め付けてください。
参考：締め付けトルクは 15 ~ 17 N・m (150 ~ 170 kgf・cm) です。

* 点火プラグの火花を確認する発火テストは、お買い求めの販売店に依頼してください。

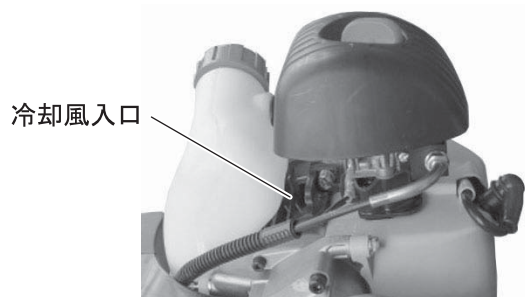
6. 点検・整備

■ 燃料タンク、燃料フィルタの清掃



1. 燃料タンクキャップを外してください。
2. 針金などを使用して、燃料パイプに傷を付けないように燃料フィルタを燃料タンクの給油口から取り出してください。
3. 燃料が劣化しているときや、水分やゴミが混入しているときは、燃料を交換し、燃料タンク内や燃料フィルタ、燃料パイプを洗浄してください。
4. 燃料フィルタ部分が黒く硬くなっているときは、交換してください。
5. 燃料フィルタを燃料タンクに戻して、燃料フィルタが燃料タンクの底面に届いていることを確認してください。
6. 燃料タンクキャップを確実に締め付けてください。

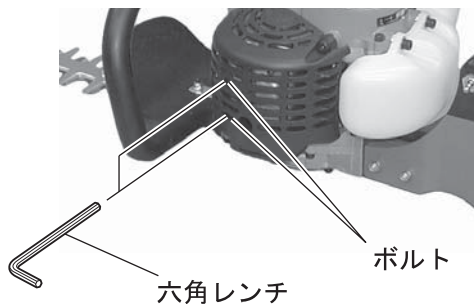
■ 冷却風通路の清掃



冷却風入口のゴミと汚れを取り除いてください。

* 冷却用の空気取り入れ口にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。

■ マフラの点検



1. マフラの締め付けボルトにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、市販の六角レンチで増し締めをしてください。
2. 排気出口がカーボンで汚れているときは、清掃してください。

6. 点検・整備

■キャブレタの点検



注意

- 直接ブレードに触れないように、手袋を着用の上、作業をしてください。
 - キャブレタを調整するときはブレードが動きます。ブレードの周辺に人または障害物がないことを確認してください。
- 傷害を負う恐れがあります。

重要

- 工場出荷時にキャブレタはエンジンの性能を最も良く引出せるよう設定されていますが、次のような場合にはキャブレタの異常も考えられますので、お買い求めの販売店に点検と調整を依頼してください。
 - ◆ エンジンが始動しない
 - ◆ エンジンが停止する
 - ◆ アイドリング（低速運転）時もブレードが動いている
- 調整ネジは締めすぎないでください。強く締めすぎるとキャブレタが破損します。

調整前にエアクリーナを清掃または交換して、エンジンを数分間運転してください。

アイドル調整ネジ

1. アイドリング（低速運転）時にブレードが回転しないようにアイドル調整ネジを回して調整してください。
- * アイドル調整ネジを時計方向に回すと回転が上がります。反時計方向に回すと回転下がります。
 - * 調整しても回転不調の場合は、お買い求めの販売店へご相談ください。

アイドル調整ネジ



7. 保管

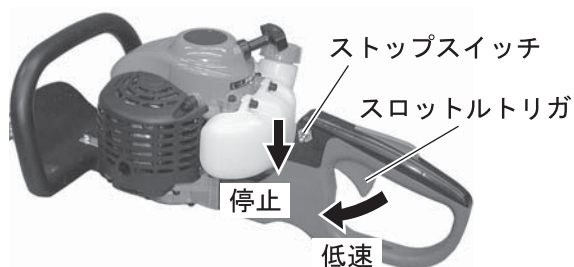
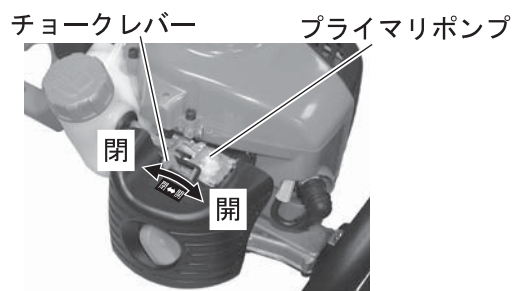


警告

○ 燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のあるそばに保管しないでください。
火災の原因となります。



○ 製品を長期間（30 日以上）にわたって保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。



1. 燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。
2. プライマリポンプを押す・離すの操作を数回くり返して、プライマリポンプの燃料を抜き取ってください。
3. エンジンを始動し、自然に停止するまで低速で運転してください。
4. ストップスイッチを「停止」の位置にしてください。
5. 製品が十分に冷えてから、外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
6. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
7. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
8. 点火プラグを外し、適量（10 mL 程度）の2サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。
9. 点火プラグの取り付け穴の上にきれいな布を掛けてください。
10. スタータグリップを数回引いて、エンジンオイルをシリンダ内に行き渡らせてください。
11. スタータグリップをゆっくり引き、ピストンを最上上の位置にしてください。
12. 点火プラグを取り付けてください。（点火プラグキャップは接続しないでください）
13. ブレードカバーを取り付け、エンジン部をビニール袋などに包み、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要			
○ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。			
故障内容	故障診断	原因	対策
エンジンが始動しない		燃料が入っていない ストップスイッチが停止位置 燃料の吸い込みすぎ 電氣的障害 キャブレタ不良、内部固着 エンジン内部の故障	燃料補給 (8 ページ) 始動位置にする (9 ページ) 整備後に始動操作 販売店へ依頼 販売店へ依頼 販売店へ依頼
エンジンが始動しにくい、また回転が変動する	プライマリポンプ内に燃料が吸い上がる	燃料の変質 キャブレタ不良 エンジン内部の故障	新しい燃料に交換 販売店へ依頼 販売店へ依頼
	プライマリポンプ内に燃料が吸い上がらない	燃料フィルタの目詰まり 燃料系統の目詰まり キャブレタ内部の固着	清掃か交換 (17 ページ) 販売店へ依頼 販売店へ依頼
	点火プラグが汚れている、または濡れている	燃料の変質 電極の隙間が正しくない カーボンが付着している 電氣的障害	新しい燃料に交換 交換 (16 ページ) 交換 (16 ページ) 販売店へ依頼
エンジンは始動するが加速できない		エアフィルタの汚れ 燃料フィルタの汚れ 燃料通路の詰まり キャブレタ調整不良 排気口・マフラ出口が詰まっている	清掃か交換 (14 ページ) 清掃か交換 (17 ページ) 販売店へ依頼 調整 (18 ページ) 清掃 (17 ページ) または 販売店へ依頼
エンジン回転の低下		エアフィルタの汚れ キャブレタ調整不良 排気口・マフラ出口が詰まっている エンジン内部の故障	清掃か交換 (14 ページ) 調整 (18 ページ) 清掃 (17 ページ) または 販売店へ依頼 販売店へ依頼
エンジンが停止する		キャブレタ調整不良 電氣的障害	調整 (18 ページ) 販売店へ依頼
エンジンが停止しない		ストップスイッチ不良	応急停止後、販売店へ (11 ページ)
アイドリング状態でブレードが動く		キャブレタ調整不良 クラッチバネ破損	調整 (18 ページ) 販売店へ依頼
エンジンの回転をあげてもブレードが動かない		ギヤケース・クラッチの故障 ブレードの破損	販売店へ依頼 販売店へ依頼
切れ味の低下		ブレードの摩耗 クラッチの滑り	販売店へ依頼 販売店へ依頼

* 表中に記載されていない故障など、ご不明な点はお買い求めの販売店にご相談ください。

8. 故障対策

8-2. 製品の廃棄

○ 製品や部品を廃棄するときは、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。

9. 仕様

型式名		EHK-480
項目	単位	
質量 本体（燃料、ブレードカバー除く）	kg	5.1
容量 燃料タンク	mL	500
外形寸法（ブレード含む） 長さ × 幅 × 高さ	mm	970×272×201
ブレード 形式 刈幅 歯車減速比 潤滑剤	mm	往復動方式 480 5.88 純正ギヤケースグリース
エンジン 形式 排気量 最大エンジン回転数 アイドリング回転数 キャブレタ形式 点火方式 点火プラグ 始動方式 動力伝達方式	mL r/min r/min	空冷 2 サイクル単シリンダ 21.2 10,500 3,300 ダイヤフラム式 フライホイールマグネット電子点火方式 NGK BPM8Y リコイルスタータ K(軽) スタート 自動遠心クラッチ
燃料混合比		[レギュラーガソリン：2 サイクルエンジンオイル] = [50:1] オイルは、J A S O 性能分類 F C または F D

※ この仕様は予告なしに変更することがあります。

メ モ



持込修理

エンジンヘッジトリマ

保証書

エンジンヘッジトリマをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、
本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

モデル名	EHK-480	製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話 ()	
お買い上げ日 年 月 日		保証期間 (お買い上げ日より) 1 年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印	

レシート貼付

京セラ インダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512
愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052) 806 - 5111

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
(ニ) 本書のご提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入または、お買い上げ年月日、販売店名を証する物 (レシートなど) の添付のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(ヘ) 付属品、別販売品や消耗品類の場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only for Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

■修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラ インダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1
TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141
<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル 0570-666-787

受付時間：月曜日から金曜日 (国民の祝日、当社指定休日を除く)
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

※ リョービ販売株式会社は京セラインダストリアルツールズ販売株式会社に社名を変更しました。